

※この科目では対面授業を実施予定です。受講申込の際は「対面授業スケジュール」にて日程をご確認ください

授業科目名： **ネット経営概論**

科目区分： 戦略・マーケティング（コア）

必修・選択の別： 選択

配当年次： 1・2 年次

単位数： 1 単位（学習期間 1/2 学期）

担当教員： 沖田 貴史

オフィスアワー（授業相談の受付）：

e ラーニングサイトおよびメールでの質疑応答を受け付けています。

（メールアドレスは大学院グループウェアのアドレス帳でご確認ください）

Skype でのミーティング等を希望する場合は、事前に希望日時をご連絡ください。

## 1. 授業の概要

インターネットの商用化利用開始から、20 年が経過し、インターネットは生活だけでなく経済活動・ビジネス活動においても必須のものとなっている。インターネットの発展は、技術面での影響にとどまらず、ビジネスルールそのものを変革しており、企業経営全般における改革を促している。とりわけ、企業の成長や事業展開に求められるスピードは大きく変化し、わが国の産業界における商慣習等も変化してきている。その結果、企業同士の「しがらみ」は薄れ、より顧客志向の企業結合やエコシステム構築が進んでいる。

本講義では、ケーススタディとして、いくつかのビジネスモデルの事例をとりあげながら、インターネット時代の経営のあり方について概説する。

## 2. 学習目標

インターネットは、単なる技術革新に留まらず、企業経営の世界を大きく変えてきている。インターネット時代に求められるビジネスの要諦とは何か。本講義及びケーススタディを通して、受講生がネットビジネスの特性およびインターネット時代の経営戦略について理解することを目標に講義を行います。

本講義の学生目標・ゴールとして、受講者に求めるのは、評論家や専門家の意見に左右されるのではなく、自らの観点・視点で、ものごとを捕らえ、考え、発信していく力です。

自らの頭で考え、参加意識を高く保てる学生を希望します。

## 3. 授業計画

この講義は、全 7 回（1 単位）の講義となります。

第 1 章：対面授業

・授業の概要とネット経営の概略

本講義の概要を説明するとともに、インターネットが持つ本質的な特徴と、それにより従来の経営とを分かつ根本的なパラダイムシフトについて、議論します。

第 2 章：

・インターネットビジネスの特徴

インターネットが持つ収穫逓増やロングテールなど、ビジネスモデルに大きな影響を与える特徴について、学びます。

第 3 章：

・ネット企業を支える資本市場の変容

インターネット産業においては、既存事業者以上に、ネット専業事業者が存在感を示している。

それらの事業者の創業と成長を支える資金環境について、ネット市場の成熟度合いに応じた変容を学びます。

#### 第4章

##### ・インターネットによるマーケティングの変化

ネット広告は、インターネット草創期からの主要ビジネスモデルであるとともに、広告市場のみならず企業のマーケティング戦略を大きく変えています。

成果型広告・SNSなど従来にない手法が、マーケティング業界をどのように変えたかについて、学びます。

#### 第5章

##### ・インターネットビジネスを支える各種インフラについて

インターネットビジネスの発展には、通信環境に加え、セキュリティや決済基盤などの各種インフラが必要となります。

近年では、クラウドサービスにより、インフラの調達が容易となり、結果としてネット起業を後押ししています。

ネット経営におけるインフラの重要性と可能性について、学びます。

#### 第6章

##### ・アジアのインターネット

インターネットビジネスは、北米から始まったものの、現在では全世界に浸透している。

アジア市場は、世界最大のインターネット人口を抱えることに加え、レガシー基盤が少ないことでフロッグリープ型のイノベーションが期待される。

アジアにおけるインターネットイノベーションの実態と社会全体に与える影響について、学びます。

#### 第7章：対面授業

##### ・これからのインターネットビジネスと経営

これまでの講義を受け、今後のネット経営のあり方について、議論を行います。

### 4. 受講上の留意点

第1章及び第7章については、対面講義を計画しておりますが、オンラインでの参加も可能です。その他、必要に応じて、ゲスト講師を招いた講義も計画しておりますので、柔軟な対応を希望します。

### 5. 成績評価基準

- ・授業の出席とコミットメント（1・7章）20%
- ・各章課題 50%（10点×5回）
- ・レポート 30%（30点×1回）

時々刻々変化する経営環境において、イノベーション等を学ぶ最良の方法は、「学んで思う」ことである。皆でディスカッションし、成果物を作り上げていく参加意欲とチーム貢献度の高さを評価します。

### 6. 必読書籍

特にありません

### 7. 参考書籍

本講座には、教科書はありません。下記に参考となる文献を紹介しますが、これに限らず、興味を持つ書籍を幅広く読むことをお勧めいたします。

- ・ 北尾吉孝著『進化し続ける経営』（東洋経済新報社）
- ・ ニコラス・ネグロポンテ『ビーイング・デジタル ビットの時代』（アスキー出版局）
- ・ クレイトン・クリステンセン著『イノベーションのジレンマ―技術革新が巨大企業を滅ぼすとき』（翔泳社）
- ・ クリス・アンダーソン著『フリー〈無料〉からお金を生み出す新戦略』（NHK出版）

※この科目では対面授業を実施予定です。受講申込の際は「対面授業スケジュール」にて日程をご確認ください

- ・ エリック・リース著『リーン・スタートアップ』（日経 BP 社）
- ・ ピーター・ティール著『ゼロ・トゥ・ワン 君はゼロから何を生み出せるか』（NHK 出版）

## 8. その他

### （1）守秘義務

本講座では、ゲスト講師をはじめ、実際の企業経営について、極力新鮮な情報を活用します。守秘義務については、大学院の規程に従い、慎重かつ的確な対応を求めます。

### （2）著作権

講師等が作成した資料について、授業外で引用や公開しないこと。

課題にあたって、引用や転載をする場合は、必ず明記すること。

講義ビデオは、授業における視聴に限り、外部に公開しないこと。